ふじのくに茶の都ミュージアム対談

江戸のお茶

江戸時代には上つ方より庶民までお茶が普及しました。茶の湯では、三千家が成立し、小堀遠州などが登場して陶磁器が大発展します。一方、庶民の間では煎茶が拡がりますが、当時の煎茶は煎じ茶といって釜で煮るお茶でした。江戸時代になると今の緑茶が生まれ、急須でお茶をいれることがはじまります。人口百万を誇る江戸はこうした茶の文化の頂点です。
江戸学の大家 大石学氏をお招きして、江戸のお茶について大いに語っていただきます。

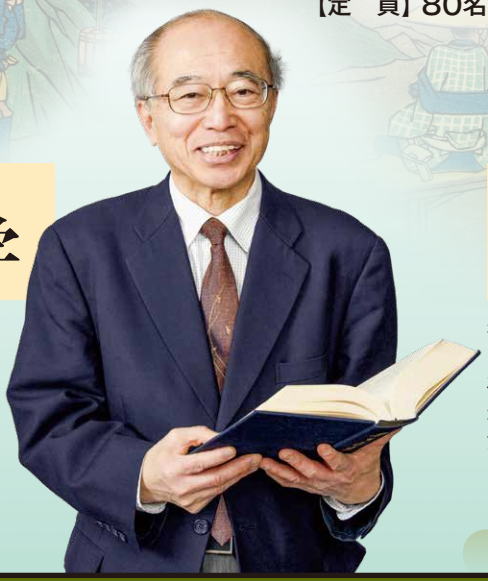


令和8年

12月13日(日)

ふじのくに茶の都ミュージアム 1階多目的ホール

【時　間】13:30~15:00 予定（受付開始13時）
【参加費】無料 当日の観覧券（一般500円）が必要です
【定　員】80名（事前予約制）



静岡市歴史博物館館長
大石 学

江戸時代の歴史、政治はもとより文化にも造詣が深い。東京学芸大学副学長、日本芸術文化振興会監事などの重職を歴任するとともに、時代考証学会設立、現会長。NHK大河ドラマ等多くの時代考証を担当。令和6年4月静岡市歴史博物館館長就任。



ふじのくに茶の都ミュージアム館長
熊倉 功夫

和食文化国民会議名誉会長であり、日本の茶文化、特に茶の湯の歴史研究の第一人者。本館の建設、展示計画にたずさわり、平成29年4月館長就任。

〈申込方法〉ふじのくに電子申請サービス又はFAXにてお申し込みください。

対談申込書

[ふじのくに電子申請サービス]

右の二次元コードから
お申し込みください。

[FAX] 0547-46-5007

	お名前	連名（参加者全員のお名前をご記入ください。）
代表	フリガナ	
携帯電話番号（必須）		
FAX 番号（必須）		

※日程・内容等は、諸事情により予告なく変更になる場合があります。　※当館からの返信をもって予約完了となります。
※1 週間経っても申込受付の返信がない場合は、お手数ですがお電話でご連絡ください。　※お預かりした個人情報は、本事業以外に使用しません。

ふじのくに茶の都ミュージアム
Tea Museum, Shizuoka

〒428-0034 静岡県島田市金谷富士見町3053-2
TEL／0547-46-5588　FAX／0547-46-5007
https://tea-museum.jp

開館時間　9：00~17：00（入館は16：30まで）
茶室は9：30~16：00（入室は15：30まで）

アクセス
- JR金谷駅より、バス・タクシーで約5分
- 新東名高速道路：島田金谷ICより約13分
- 東名高速道路：相良牧之原ICより約10分
- 国道1号線：大代ICより約10分

観覧料　一般500円　学生・70歳以上・障害者手帳をお持ちの方は証明書のご提示で無料

